

黒小だより



令和7年 4月30日

第1号

【今年度の重点目標】 ～豊かに表現し、学びを深める子の育成～

○学ぶ楽しさと成長を実感できる学校 ○元気な挨拶と思いやりにあふれる学校 ○保護者・地域の信頼で結ばれる学校

春、心まで温かい

校長 半田 健一

みんなが一つずつ進級し、36名の可愛い1年生を迎え、児童285名と職員38名で黒川小学校の新しい1年が始まりました。

1年生も、徐々にご家族の方の手を離れ、自分で登校できるようになっていきますが、時々歩道で小さな人だかりができたり、校門前に立っている私のところへ猛スピードで走ってくる上級生がいたりします。何があったかといえば、水たまりで転んで服が泥だらけになっていたり、ひざを擦りむいて大泣きしたりしている1年生がいるのです。上級生が濡れた髪やランドセルを拭いてあげたり、しゃがんで励ましてあげたり、心配そうにその場で待っていたり、「校長先生～！1年生の子が…！」と助けを求めて動き出したり…。見ないふりをして通り過ぎるような子がいらないことがとても嬉しく、心温まる4月でした。



多くの子どもが集い、共に支えながら生活し、育っていく「学校」というものの存在価値をそんな場面に見いだすことができます。助けてもらった1年生はきっと困っている人を助けてあげられる人に育っていくでしょう。助けてあげた上級生は助けられた経験があったのだと思います。優しさや思いやりはこうやってつながっていくのだと思います。

転んだ子は痛かったでしょうね。でも「失敗」や「うまくいかない」経験も大切な学びであり、豊かに、たくましく人生を歩んでいくためには欠かせないものだとも私たち教職員は考えています。保護者の皆様にもご理解をいただき、温かく見守っていただけましたら幸いです。

始まりの4月は「元気なあいさつにあふれた学校」にすることを重点に、子どもと教職員全員で取り組んできました。児童会のあいさつ運動、校内の掲示、色々な場面でのあいさつの呼びかけなどを通じて子どもたちの意識も徐々に変化し、行動に表れています。全校朝会では、これまでで一番のあいさつが体育館に響き、感動しました。保護者や地域の方々とのあいさつもできるようになれば、明るい地域づくりにつながると思いますので、お声かけをお願いいたします。今年度は毎月の重点に向けて、子どもと職員が一丸となって取り組むことを一層大切に、その成果が保護者の皆様に伝わるよう努めていきます。

新しいチャレンジもします。2～6年生の授業は「一部教科担任制」としました。例えば1組の担任は2組の国語の授業も受け持ち、その分2組の担任は両学級で理科や社会を受け持つというようにです。各担任が得意分野を生かし、担当教科種を少なくして教科研究に取り組めます。専科教員による時間を含めると子どもたちは週の中でかなりの時間、担任以外の授業を受けることになります。

多くの職員が子どもの指導に係わるということで、子どもにとって身近で、相談しやすい職員が増えるという良さもあります。

これまで同様、保護者の皆様にご協力いただくことも数多くあることと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

